

目 次

ま え が き

I 研究にあたって

- 1 研究の動機とねらい 1
- 2 研究の方法 4

II 研究の内容

- 1 保育園の生活、幼稚園の生活 ～幼保の交流・連携から学ぶこと～ 5
 - (1) 子ども同士、先生同士が仲良くなろう（1年次：平成15年度） 5
 - (2) 子ども同士の接点を意識して活動を計画しよう（2年次：平成16年度） 5
 - (3) 互いの環境への工夫を知ろう（3年次：平成17年度） 6
 - (4) 子どもの経験する内容に目を向けよう（4年次：平成18年度） 14
- 2 幼児期前期の生活 26
 - (1) 3歳児入園直後の混乱から（問題提起） 26
 - (2) 2歳児の発達を踏まえた2歳児らしい生活とは ～保育園での生活より～ 29
 - (3) 入園前の生活を探る ～保護者の意識調査より～ 40

III 成果と課題

- 1 自我とかかわりを育む —「自我のめばえ以前」から「思春期」へ— 47
青柳 宏（宇都宮大学教育学部准教授）
- 2 「2歳児からつながる幼児期」の連続した発達を見直す 53
- 3 教育課程の改善に向けて 54
- 4 保護者や地域の教育力を生かした子育て支援の構想 57

参 考 資 料 63

- ・保育を語る会の記録
- ・構造改革特別区域「三歳未満児に係る幼稚園入園事業」の実施に係る留意点
平成18年5月 文部科学省初等中等教育局幼児教育課
- ・幼稚園を活用した子育て支援としての2歳児の受入れに係る留意点
平成19年3月31日 文部科学省初等中等教育局幼児教育課

あ と が き 86